地域で育て地域を興す博士後期プログラム　2022年度10月入学申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名（日本語表記） |  |
| 氏名（ローマ字表記） |  |
| 現在の学籍番号 | （本学学生のみ記入のこと） |
| 生年月日 |  | 国籍 |  |
| 現住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス（本学学生は本学のもの） |  |
| 現在日本にいるか（不要な選択肢を消去のこと） | いる　　　　　　　いない |
| 奨学金支給の有無（不要な選択肢を消去のこと） | 　　　　　　有　　　申請中　　　　無 |
| 本件以外に奨学金支給有・申請中の場合、奨学金情報 | 奨学金名：状況：（　　） 受給中　（　　）申請中 （どちらかに○）支給（予定）期間：　　　　年　　　　月まで月額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円（複数ある場合は、記入欄を追加のこと） |
| 企業からの給与・役員報酬、奨学金等の安定した収入の合計額（申請者本人の2022年収入見込み額） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　万円 |

1．日本語の能力

|  |  |
| --- | --- |
| 自己評価(該当する水準に○を１つ記入) | 語学能力の証明（ない場合は空欄とする） |
| 読み書き | 会話 | 試験名（　　　　　　　　　　　　　　　）受験年（　　　　　　　　　　　　　　　）点数・評価（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （　　）学術活動可（　　）日常生活可（　　）少し可能（　　）不可 | （　　）学術活動可（　　）日常生活可（　　）少し可能（　　）不可 |

2．英語の能力

|  |  |
| --- | --- |
| 自己評価(該当する水準に○を１つ記入) | 語学能力の証明（ない場合は空欄とする） |
| 読み書き | 会話 | 試験名（　　　　　　　　　　　　　　　）受験年（　　　　　　　　　　　　　　　）点数・評価（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （　　）学術活動可（　　）日常生活可（　　）少し可能（　　）不可 | （　　）学術活動可（　　）日常生活可（　　）少し可能（　　）不可 |

3．受賞（大学学部以降）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 賞の名称 | 賞の授与団体 | 受賞年月 | 賞の特徴 |
|  |  |  |  |

　記入欄が不足する場合は、大きさ変更・追加可能

4．これまでの研究成果（記入欄が不足する場合は、大きさ変更・追加可能）

（1）学位論文（修士以上）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著者名 | 発行年 | 題目 | 学位と発行機関 |
|  |  |  |  |

（2）英語による国際学術雑誌論文

査読の有無を明記すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 著者名（著者順に記載） | 題目、発行年、雑誌名、巻、ページ | 査読の有無 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |

（3）その他の学術雑誌論文

査読の有無を明記すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 著者名（著者順に記載） | 題目、発行年、雑誌名、巻、ページ | 査読の有無 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |

（4）国際会議発表

査読の有無を明記すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 著者名（著者順に記載） | 題目、発表年、会議名、開催地、ページ | 査読の有無 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |

（5）その他の学会発表、紀要、一般誌への発表・掲載

査読の有無を明記すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 著者名（著者順に記載） | 題目、発表年、雑誌名、巻（会議名、開催地）、ページ | 査読の有無 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |

（6）著書、データベース、フリーソフト等の作成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著者（著者順に）・作成者名 | 発表・発行年 | 題目・内容　 | 出版社名、ページ、発行者名等 |
|  |  |  |  |

（7）発明

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発明者 | 発明の内容、特許番号 | 取得済みか出願中か |
|  |  |  |

（8）専攻分野に関連した競技会やその他の作品発表の場での業績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発表者、作成者 | 競技会や製品の名称、年 | 受賞や外部評価 |
|  |  |  |

5. これまでに北九州地域で行った活動と成果（研究、奉仕活動、社会貢献など）

　以下、「北九州地域」ないし「地域」は、北九州市とその周辺市町村を指す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動名 | 実施期間（開始年月～終了年月） | 内容（連携相手、実施内容、成果、外部評価など） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　記入欄が不足する場合は、大きさ変更、追加可能

6. 本プログラム受講中にどのように地域との連携活動を深めていくか、次の対象別に自分の案を記入（各200字程度）

|  |
| --- |
| 地域の企業等： |
| 地域の一般市民： |
| 地域の学術・専門機関（研究機関、医療機関、博物館などを含む） |

　記入欄が不足する場合は、大きさ変更可能

7. 本プログラムを修了した後、どのように継続的に北九州地域と関わり、また、地域に貢献していくか、自分の考えを記入（800字程度以内）

|  |
| --- |
|  |

　記入欄が不足する場合は、大きさ変更可能

8．受け入れ予定指導教員による承諾

次の事項について、受け入れ予定指導教員の了承を得てください。当該教員の署名を得た後、このページをスキャン、または、撮影してPDFによる申請書に入れてください。

本プログラムの実施には、指導教員の協力が不可欠です。

|  |
| --- |
| 申請者が本プログラムに採択された場合、指導教員として以下の役割を果たします。・本プログラムの育成チームとともに受講生の履修計画を作り、活動状況把握と履修内容の確認・修正・助言（月に１回程度）を行います。また、地域インターンシップや異分野合宿等、受講生による本プログラムの活動日程確保に協力します。・受講生の海外研修（研究、ないし、社会活動）（3週間以上、留学生は日本と出身国・地域以外の第三国が原則）について、受講生の必要に応じて、実施先や日程・実施内容の調整、可能な範囲での資金的支援を行います。なお、コロナ禍による海外渡航困難等の事態においては、事業統括とともに代替的な研修方法を検討・実施します。 |

　　　　　　　　　日付　　　　　　　　　　年　　　月　　　日

　　　　　　　　　指導教員署名